

クーリングシステム事業部の抱負

菅原 晟

Akira Sugawara

馬場 克彦

Katsuhiko Baba

山洋電気の企業理念「私たち山洋電気は、全ての人々の幸せをめざし、人々とともに夢を実現します。」が制定されて間もない今、『山洋電気テクノロジーセンター』が竣工し、稼動を始めました。このテクノロジーセンターが企業理念をふまえた、未来へ向かって希望に満ちた、明るい道を開く技術開発、製品開発の拠点となることを確信いたします。

このテクノロジーセンターのスタートにあたり「クーリングシステム事業部の抱負」を過去も振り返りながら述べます。

電子機器の内部冷却用として、1965年から開発・生産を始めた当初、1タイプのACファンモータがクーリングシステム事業部の製品群の起源です。この製品名は社内公募で「サンエース」と名付けられました。

その後、お客様のニーズに対応して、ACファン・DCファンともに $\square 60\text{mm}$ のピコエースから $\phi 170$ のダイナエースまでシリーズ化し、後に「サンエースMC」にも発展する $\square 40\text{mm}$ のDCファインエースもシリーズに加えしました。

近年では、より高度な要求に対応し「長寿命ファン」、「サンエースMC」、「防水ファン」の開発・シリーズ化に成功し、さまざまな技術対応も行い、3,000型番を超える生産・販売をしています。

これらの製品開発は、設計関係者のたゆまぬ努力と技術支援に力を尽くした生産技術関係者はじめ、営業部門関係者、生産・生産管理・品質管理・資材・総務の事業部門関係者の「力の結集」が実を結んだ成果です。

また、この成果は、当社創業者の「一歩、時流の先を行く」の精神が、現在も生き続けていることを示しています。

近年、当事業部は、日本全体に不透明感が漂う中、[図1](#)の売上推移に表されるように、1993年を底として飛躍的な成長を果たしました。特にこの3年間は、対前年1.5倍前後の成長率を達成しました。

この成長率は、1994年秋に決定し、1995年度から本年を最終年度とする第一次中期計画の初期計画をはるかに超えて、200%を超える達成率を果たす見込みです。

この飛躍的な成長ができた大きな要因が2つあると思います。1つは「サンエースMC」が1993年に開発、製品化され1994年から売上に貢献したことです。その後、今日に至るまで「サンエースMC」は持続的に、大幅な成長を示しています。もう1つは1993年の春、社内で初めてISO 9002の認証取得活動をスタートし、翌1994年9月に認証を得たことです。この活動の中で、品質管理だけでなく、「事実を確認する」、「第三者が見て客観的に判る」、「効果を確認する」、「責任と権限を果たす」などの事業活動全般に渡る方法を学びました。そして、その後の関連各部署の努力によってさらなる品質・信頼性の向上が図られました。その結果、山洋電気のファンは機能や性能の高さに加え、品質・信頼性を高く評価され、「サンエースMC」以外のBLDCファンも大幅な成長を成し遂げました。

もちろん、私たちがここまでこられたのは、私たちの力だけでなく、

「お引き立ていただいておりますお客様」

「ご協力いただいておりますお取引先の皆様」

「ご支援いただいております地域の皆様」

があつてこそであり、厚く御礼申し上げます。

私たちは来るべき21世紀に向けて「夢の実現」のために、来年度からの第二次中期計画を関係者の総意を集めて作成中です。この計画には、相次ぐ増産に息せき切って走って来たここ数年に比べて、新製品開発・新工場への展開などの夢

が数多く盛り込まれます。

新製品開発は企業理念をふまえた目指すべき3つの技術の方向、すなわち(1)地球環境を守るための技術(2)人の健康と安全を守るための技術(3)新しいエネルギーの活用と省エネルギーのための技術、を満たすべく行います。例えば、高性能なクーリングシステムは機器の小型化や高性能化を可能とし、また信頼性を高め長寿命化を可能にします。結果として、資源の節約や省エネルギーに役立ちます。ファンそのものの長寿命化もしかりです。低騒音化は人にあたえる不快感を軽減し、前記(2)項に関連する技術となります。これらに関する技術をさらに高め、新製品開発に生かします。

生産面では、1998年7月に完成する新工場への展開計画が有ります。この新工場は、延べ床面積が26,000m²を超える壮大な生産拠点です。工場設備面では、春秋の中間期に気温にあわせて冷房・暖房のどちらでも対応できる2系統の空調設備、展望レストランのような食堂など、より働きやすい職場環境を私たちに与えてくれる予定です。

さらにISO 9001への移行、ISO 14000の取得、新生産管理システムの導入などのチャレンジテーマも目白押しです。

共に力を合わせてチャレンジできるテーマが沢山あることは、とてもうれしいことと思います。

私たちクーリングシステム事業部は、過去のさまざまな経験から最高の教訓を得ています。それは「共に事業に携わる人々が心を一にした活動は、人々に幸せをもたらす。」と言うことです。

私たちは以下を、私たち事業部の「抱負」として掲げます。

「人々と共に心を一にして歩む事業部を目指し、企業理念を満たす事業活動を行います。」

最後になりますが、私たちが開発した最初の「長寿命ファン」は、現在も連続回転中であり、60℃雰囲気換算での現時点での期待寿命は約50年にまで到達しています。

これは、人々の力の結集はすばらしいテクノロジーをもたらすことを表す好例と思います。

共に歩み続けられる人々と、共に事業に携われることに感謝の念を表して、結びといたします。

菅原 晟
常務取締役 技術開発担当
クーリングシステム事業部 事業部長

馬場 克彦
取締役
クーリングシステム事業部副事業部長

図1 クーリングシステム事業部 売上推移

1993年度を100とした売上比率

